

会 議 記 録

高松市附属機関等の設置、運営に関する要綱の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会議名	令和6年度第1回高松市美術館協議会
開催日時	令和6年7月30日(火) 13時30分～15時20分
議題	(1) 令和5年度事業報告について (2) 令和6年度事業計画について (3) その他
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上記理由	
出席委員	小方委員、古川委員、北村委員、田野委員、松原委員、宮脇委員、藪内委員、中村委員、Page委員、吉田委員、植原委員、三井委員、上野委員、木下委員、堀本委員
傍聴者	0 人 (定員 5人)
担当課及び連絡先	美術館美術課業務第二係 823-1711

会議の経過及び結果

【開会】

事務局 配布資料の確認
委員紹介
事務局職員紹介

事務局 委員出席者数による会議の成立を報告
局長 ーあいさつー

協議会条例第7条第1項の規定により、会長が議事進行

会長 会議の公開について了承を求める
全委員 了承

【議題(1) 令和5年度事業報告について】

事務局 資料に沿って令和5年度事業の実施内容等を説明

委員 地下駐車場や周辺駐車場の割引について検討してほしいとの意見

事務局 地下駐車場の割引については、利用者からの要望も多い。駐車場の管理が別になっているため、時間はかかると思うが関係機関と調整し前向きに検討したいと回答

会議の経過及び結果

- 委員 開館35周年記念として力を入れて取り組んだ事業について質問
- 事務局 第3期コレクション展で「川島猛展」を開催。また、3月3日に高松市美術館開館35周年記念事業として、野村誠コンサート「音楽の未来を作曲する～サヌカイト」を実施。高松市美術館友の会に関しても、35周年を記念する事業を開催したと回答
- 委員 高松市美術館の高齢者への割引制度はどのようなものがあるのか質問
- 事務局 コレクション展については、65歳以上の方は無料で観覧できること、また、定期観覧券も65歳以上の方は半額で購入できる。特別展に関しては特に割引はしていないが、定期観覧券を半額で購入できることから、是非そちらを利用していただきたいと回答
- 委員 年齢の高い方の方がいろいろな文化活動に取り組んでいる人が多いことから、さらに推進するようお願いしたいとの意見
- 委員 来年の瀬戸芸の際、夜型観光のキーポイントになる計画をしてほしいとの意見
- 事務局 来年は瀬戸芸や大阪関西万博等もあり、旅行客の誘引が大きな課題となっている。美術館が単独でというより、いろいろな機関と連携したなかで、美術館もその一役が担えればと考えていると回答
- 委員 音楽に関してお堅い真面目なジャンルばかりでなく、ジャズや軽音楽、ラップやシンセを使った現代音楽等のジャンルも検討してほしいとの意見
- 事務局 エントランスホールを活用した事業の一つとして、特別展と連動したコンサートを開催している。また、エントランスホール活用事業は公募企画として実施していることから、いろいろなジャンルの方に応募してもらえるような働きかけが大事だと考えている。また、街角クラシック等でエントランスホールが会場にもなっていることから、今後もそのような連携を密にしていきたいと回答
- 委員 動画配信を除いた実際の来館者数について、令和5年度はコロナ前より増えているのか質問
- 事務局 特別展の内容により、来館者数が大きく左右されるため、一概には言えない。また、年間利用者数は、観覧者、ワークショップの参加者、イベントの参加者、動画視聴者数となっているため、個別の数字は言えないが、来館者数の増加に向けて取り組んでいると回答
- 委員 気軽に待ち合わせに利用する等、日常的な場になれば来館につながると思うので、そのような場所になることを期待しているとの意見
- 事務局 昼休みに待ち合わせ場所として利用されている方も見受けられる。それをきっかけとして、利用しやすい美術館となるよう努めたいと回答
- 委員 「日本伝統漆芸展」について、毎年この時期に開催され、良い作品が展示されているため、もっとPRしてはどうかとの意見

会議の経過及び結果

- 事務局 また、瀬戸芸開催期間の美術館の開館時間について、過去には、瀬戸芸開催期間中は休館日をなくし、19時まで開館時間を延長していたこともあったが、来館者数は伸びなかった。財政状況が厳しい中でいろいろな課題はあるが、できるだけ多くの方が来館できるように取り組んでほしいとの意見
- 事務局 伝統漆芸展について、讃岐漆芸が日本伝統漆芸に含まれていることから、高松市美術館も日本伝統漆芸展実行委員会の委員となっているが、単独で開催日を決定し、進めることができないため年間スケジュールに小さい文字で予定を記載する程度となっていると回答
- 委員 瀬戸芸開催期間中の夜間開館について、最終便の船で高松に帰港した方が引き続きアートを楽しめるように、会期中に開館時間の延長等を検討したらどうかといった意見もあり、対応を考えているところである。費用対効果や過去の開館時間延長をした際の入館者数、看視員の確保の問題等様々な課題はあるが、前向きに検討したいと回答
- 委員 高齢者の入館料について、民間施設であれば収益が出なければいけないと思うが、公的施設の場合は収益を出すということではなく、サービスの要素が大きい。同じ公的施設で、一方は65歳以上無料なのになぜこちらは有料なのかとの意見も多く聞くので、可能な範囲での対応を推進してほしいとの意見
- 事務局 収蔵作品が増加する中で、収納スペースの確保はできているのか、また、作品が多様化し、今までの美術館の形式では収まらない作品も出てくると思われるが、どのような対応を考えているか質問
- 事務局 高齢者の入館料について、公立の美術館であるため利益を追求しているものではないが、市民の大切な税金を使い運営しているため、費用対効果や厳しい財政状況等を踏まえた上で勘案したいと回答
- 事務局 36年分の収蔵品があるため、収蔵庫もいっぱいになってきているが、まだ多少の余裕があるので、工夫しながら収納している。また、新しいタイプの作品として、映像作品を多く収集しているが、映像作品は場所を取らないため、収納場所についてはクリアできる。一方でインスタレーションやメディアアート等従来の絵画や彫刻とは違い、様々なものを複雑に組み合わせた、展示や管理が難しい作品もある。当館も200本の電球からできている「電気服」を収蔵しているが、いずれは電球が切れてしまう。そのため、「電気服」を将来に向けてどのように保管していくか考えているところであると回答
- 委員 来場者数の子どもの割合はどの程度か。また、ワークショップや子どものアトリエの参加者について、募集人数に対して最大の人数の応募なのか、定員割れしているのか質問
- 事務局 詳細な数字は出ていないが、特別展については、高校生以下の入場者数が

会議の経過及び結果

- 5,645人となっている。ワークショップについては、たくさんの応募があるときもあればそうでない時もあり、さまざまである。こども+については、無料開放していることもあり、プログラム参加者数も含めて5,345人となっていると回答
- 会 長 キャッシュレス決済だけでなく、ウェブチケットを導入し、入館者の情報を入力する仕組みを取り入れるのも一つの案であるとの意見
「令和5年度事業報告」について、承認を求める。
- 全 委 員 承認
- 【議題（2）令和6年度事業計画について】
- 事 務 局 資料に沿って令和6年度事業計画の内容等を説明
- 委 員 現在は、Wi-Fiが使えるエリアと使えないエリアがあるか、計画ではどの程度エリアが拡大するのか。また、塩江美術館の整備状況について質問
- 事 務 局 館内Wi-Fiエリアを1階講堂、常設展示室、市民ギャラリー、2階一般・企画展示室一に拡大予定としている。塩江美術館については、現在、Wi-Fi導入計画はないと回答
- 委 員 Wi-Fi利用エリアの拡大により、利用者も増えると思うので、さらに進めてほしいとの意見
- 委 員 塩江のバスについて、現在、早朝に1便、夕方に2便となっており、日中の便がなくなっているため、塩江の観光協会に塩江美術館に行きたいが、行くことができないと連絡があるので考慮してほしいとの意見
- 事 務 局 塩江美術館に気軽に鑑賞に行ける環境は大切である。美術館だけでは対応が難しいので、関係課や関係機関と連携して対策を検討したいと回答
- 委 員 普段、美術館に行かない男子高校生の子どもがロボット展を見に来た。展示内容によって、美術館に足を運ばないような人たちが来てくれるのではないかと。また、エントランスホールの活用について、クラシックだけでなく違ったジャンルの音楽公演は可能なのか質問
- 事 務 局 特別展については、幅広い年齢層が興味を持ってもらえるように様々なジャンルの展覧会を企画している。エントランスホールの活用については、今後、どのようなジャンルをどの程度まで拡充するのかについて、委員の意見を踏まえた上で検討したいと回答
- 委 員 本物の作品に触れる機会はあまりないので、希望する学校への出前講座や学芸員が実際の作品作りの指導をする機会を設けてほしい。また、来年度の瀬戸芸期間の特別展について、外国の方が興味を持つようなアニメの展覧会をすれば集客できるのではないかと意見
- 委 員 高齢者へのアクセスとして、塩江までコミュニティバスを走らせ、高齢者の経

会議の経過及び結果

- 験やキャリア等の思い出を学芸員と一緒に話しに行くようなつながりが生まれれば、現代アートとして塩江が生かされるのではないかとの意見
- 事務局 学校との連携については、昨年、校長会を通じて呼びかけをしたが、情報が現場までおりになかったため、同じ学校に何度も行くこともあったが、学芸員の裾野を広げたいという思いから、今年度は、美術担当教諭等の研究会で意見交換したところ、ぜひ実施したいとの意見があったため、希望校が増えることに期待をしている。一方で、マンパワーにも限界があるので幅広く実施できるよう計画的に取り組みたいと回答
- 高齢者への取組については、出前講座で老人クラブ連合会、地域の社会福祉協議会、老人介護支援センター等にも学芸員が出向き、アートを通じたプログラムを展開していると回答
- また、塩江美術館については、地域に根差した美術館ということで、塩江駅プロジェクトについては、塩江美術館の学芸員が塩江の学校へ出向き、歴史や背景等を授業の中で話をして、プロジェクトに参加してもらおうといった取組をしており、そこから、子どもだけではなく、地域の方や高齢者の輪が広がっていくことを期待していると回答
- 副会長 丸亀町の開発について、美術館周辺の計画が始まっている。美術館周辺の開発であることから、アート、ギャラリーをコンセプトとして設計しているため、美術館と連携していきたいと考えているとの意見
- また、インバウンドがかなり増えているが、夕方から行動する方が多いため、閉館時間の延長を検討してほしいとの意見
- 最後に、ランチギャラリーが好評のため、今後も期待しているとの意見
- 事務局 商店街に近接する美術館として、商店街との連携を深め、街づくりやにぎわいの創出と美術館の入場者数の増加を両立できるように取り組みたいと回答
- 会長 Wi-Fiの整備について、コストはかかるがぜひ進めてほしいとの意見
- 塩江へのアクセスについて、空港を起点として考えてみてはどうかとの意見
- また、エントランスホールの活用について、作品が多様化する中で、作品と音楽をうまく合わせて、クラシックだけでなく若者向けの音楽を企画するのも良いのではないかとの意見
- 「令和6年度事業計画」について承認を求める。
- 全委員 承認
- 【議題（3）その他】
- 事務局 開催中の特別展・コレクション展等の案内
- 会長 一閉会一